

洪水からみなさまの暮らしを守る

VOL.5

あさがわけきとく  
厚狭川激特だより

## はじめに

厚狭川激特だよりは、「厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業」に関する取り組み状況などの情報をお知らせするために発行するものです。

今回は、「大正川排水機場の概要」、「事業の進捗状況」についてお知らせします。

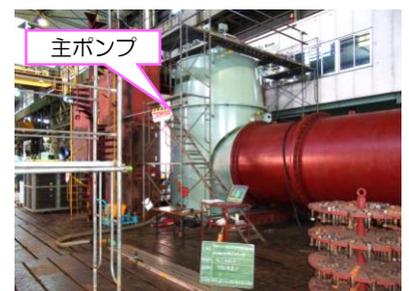
【整備の目標】 厚狭川および桜川において、河道の掘削及び拡幅、排水ポンプの増設等により、洪水を流下させる能力を向上させ、平成22年7月の豪雨規模の洪水による浸水被害を軽減します。

## 大正川排水機場の概要

大雨で厚狭川の水位が上昇し、大正川や桜川よりも厚狭川の水面のほうが高くなると、水は厚狭川から大正川や桜川へと逆流を始めます。そこで、逆流を防ぐために、厚狭川と大正川との合流地点に水門を設置しています。ところが、水門を閉めてしまうと、大正川や桜川の水が行き場を失いあふれてしまうため、大正川から厚狭川に強制的に水をくみ出す大きなポンプを備えた施設が必要となります。こうして、大正川排水機場が建設され、平成12年に稼働を始めました。大正川排水機場には、毎秒13トンの水をくみ出す能力を持ったポンプが1基備えられていますが、現在、平成25年の梅雨時期までに計3基のポンプが稼働できるよう、ポンプの増設工事を行っています。この工事が完了すれば、毎秒39トンの水をくみ出すことができるようになり、大正川や桜川からの浸水被害は大幅に軽減します。



＜操作室＞ 雨の状況や川の水位など、操作室に集められた情報をもとに、水門、ポンプ、除塵機などの操作をしています。



新たに増設する主ポンプの製作が完了し、工場では仮組みしたところです。これをまた分解して現地に運んで据え付けます。

